

「日々の理科」(第 4014 号) 2025, -8, -3

「北海道一周鉄道旅行 (18)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



網走駅に着いた特急列車は、翌朝には札幌行きの上り列車「オホーツク 2 号」になり、夜間滞留になります。到着は遅れましたが、その場で車内清掃が行われ、翌朝の出発に備えていました。



網走駅は、石北本線（呼人駅～旭川方面）と釧網本線（せんもうほんせん／桂台駅～釧路方面）の接続駅です。かつては、この駅からもう一本「湧網線（ゆうもうせん）」というローカル線が発着していました。



「湧網線の列車」(画 ; C.Tanaka)

湧網線は「中湧別（なかゆうべつ）」と「網走」を結んでいました。サロマ湖の南岸を通る牧歌的のどかな路線でした。私はとても好きでしたがし、とっくに廃線になっています。当時は、気動車の旅客列車の他に蒸気機関車牽引の貨物列車も走っていました。



網走駅はこのあたりの中核駅ですが、すでに駅員さんの勤務時間は終わっていて窓口も閉まっていた。人の気配がなく、シンとしていました。



ホテルは駅前の「東横イン」です。翌朝カーテンを開けると、部屋から網走駅がよく見えました。



駅のとなりに「すき家」もあるので、旅行者には便利でしょう。東横インは、どの店舗も朝食が無料なの

ですが。私は網走発の始発に乗るので、何か買って持ち込むことにしました。



網走駅前にはかつて「ニポポ（アイヌの伝統的な木彫り人形）」の大きな像があったのですが、今はなくなっていました。駅にはコンビニや売店也没有ありません。



私はコンビニのある場所まで、少し歩きました。途中「網走川」を渡ります。ちょうどこの写真の方向に、少し川沿いを行ったら、網走の観光名所の一つ「網走刑務所」があります。「見るのはいいが、入っちゃいけない」ところですよ・・・！



「常呂（ところ）行」のバスが来ました。鉄道の始発よりも早いです。常呂にもかつては湧網線の駅がありましたが、今はバスが唯一の公共交通手段なのです。

こんなに早いのは、高校生を迎えに行くのでしょうか。



コンビニで「物資」を仕入れて、網走駅に戻りました。私が乗る列車は釧網線始発の釧路行普通列車です。かつては指定席のある急行列車もあったのですが、今は普通列車だけです。3時間も乗るので、座れないと大変です。それで、発車よりも30分前に駅に着くように早起きしたのです。



驚いたことに、ホームにはもう結構大勢の人が並んでいました。この様子を見て早く並ばなきゃと焦って、階段で危うくスッ転びそうになりました。



跨線橋から見た釧網本線です。列車の本数が少ないので滞留列車も少なく、ガランとしています。石北本線も釧網本線も非電化で架線がありません。非電化区間の鉄道風景は、どこか広々としていて好きです。